

公開実用 昭和64-28652

⑩ 日本国特許庁(JP)

⑪ 実用新案出願公開

⑫ 公開実用新案公報(U)

昭64-28652

⑬ Int.Cl.⁴

A 61 M 5/32

識別記号

庁内整理番号

7603-4C

⑭ 公開 昭和64年(1989)2月20日

審査請求 未請求 (全 頁)

⑮ 考案の名称 針の出し入れが安全に行なえる注射針のキャップ

⑯ 実 願 昭62-124698

⑰ 出 願 昭62(1987)8月14日

⑱ 考 案 者	向 野	良 介	福岡県福岡市南区中尾1丁目20番6号
⑲ 考 案 者	向 野	由 美 子	福岡県福岡市南区中尾1丁目20番6号
⑳ 出 願 人	向 野	良 介	福岡県福岡市南区中尾1丁目20番6号
㉑ 出 願 人	向 野	由 美 子	福岡県福岡市南区中尾1丁目20番6号

BEST AVAILABLE COPY

明細書

1. 考案の名称

頭部は針の先端を収納し且つ針が貫通しない構造、頭部以外は弾性と伸縮性に富む材質で長軸方向に切れこみが一本入った構造からなる注射針のキャップで、使用の際は注射針にとりつけたまま先端部を引っ張ってキャップを伸張させ、切れこみより注射針を出し入れする態様のもの

2. 実用新案登録請求の範囲

頭部は針の先端を収納し且つ針が貫通しない構造、頭部以外は弾性と伸縮性に富む材質で長軸方向に切れこみが一本入った構造からなる注射針のキャップ

3. 考案の詳細な説明

本考案は注射針のキャップに関するものである。従来の注射針のキャップは硬い合成樹脂製で、針を使用する際はとり外している。しかし、使用後つけ忘れたり、また、いったん装着してもしばしば外れたりすることがあり、採血や注

射に用いた針が医者や看護婦の皮膚に刺さって感染するという事故が絶えない。最近では、医療関係者の肝炎による死亡事故が問題になっている。

本考案はこれを改善するためのものである。

第1図と第4図は、本考案のキャップに注射針を収納した状態の平面図と正面図である。第1図に示すように、本考案は針の先端を収納し且つ針が貫通しない構造の頭部1と、長軸方向に一本の切れこみ3が入った、弾性と伸縮性に富む材質の部分2とからなる。これに注射針4を通し、注射針の基部5の根元まで押し込むと、キャップは固く密着され、頭部1を引っ張っても外れない。また、注射針4は切れこみ3よりも長く、針の先端は頭部1の内側に収納されるので、これを引っ張らない限りキャップを突き破ることはない。

注射針使用の際は、第2図に示すように、頭部1を引っ張ってキャップを伸張させ、切れこみ3より注射針4を取り出し、さらに、第3図

のようにキャップを折り曲げ注射針4を十分に露出させて用いる。使用後は、第2図と同じ要領でただちに針を収納する。その際、針が切れこみ3を通るとき、弾性によりキャップの内側にはじかれ、切れこみ3の先端部の対側を突き破る可能性があるので、頭部1の末端が切れこみ3の先端部の対側にあたる部分までおおう構造としている。

以上により、注射針使用後ただちにキャップに収納できるのでつけ忘れが少なくなるという効果を生じ、使用後の注射針による事故の減少が期待される。

なお、本考案のキャップを注射針の基部と予め一体化した態様としても、同等の効果を得ることができる。

4. 図面の簡単な説明

第1図は本考案の、注射針をキャップに収納した状態の平面図、第4図はその正面図である。1は本考案の針の先端を収納し且つ針が貫通しない構造の頭部、2は本考案の弾性と伸縮性に

富む部分、3は切れこみ、4は注射針、5は注射針の基部、6は注射器。第2図は頭部1を引っ張って2の部分を伸張させ切れこみ3より注射針4の一部を取り出したときの平面図である。第3図はキャップを折り曲げ針を露出させて使用するときの平面図。

実用新案登録出願人

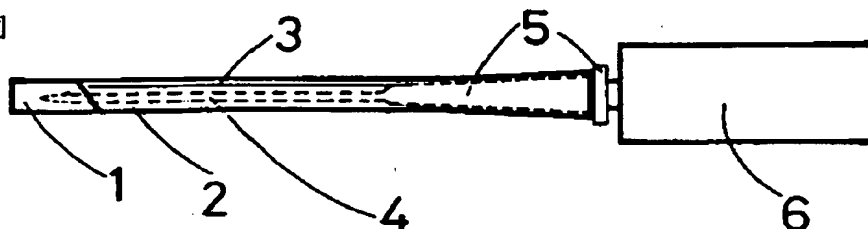
向野良介

向野由美子

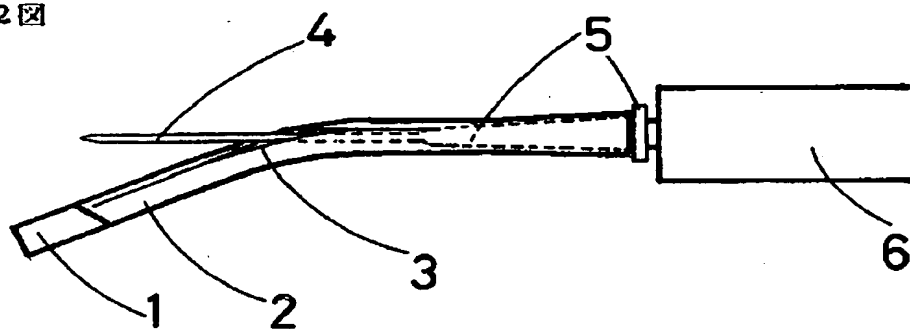


圖面

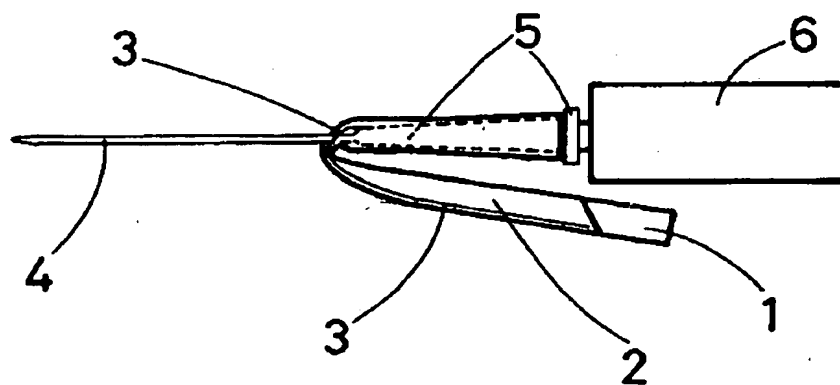
第1圖



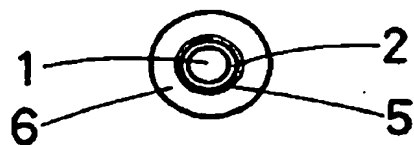
第2圖



第3圖



第4圖



實用新案登録出願人 向野良介
向野由美子

手続補正書（方式）

昭和62年10月29日

特許庁長官殿

1. 事件の表示 昭和62年実用新案登録願
第124698号

2. 考案の名称

頭部は針の先端を収納し且つ針が貫通しない構造、頭部以外は弾性と伸縮性に富む材質で長軸方向に切れこみが一本入った構造からなる注射針のキャップで、使用の際は注射針にとりつけたまま先端部を引っ張ってキャップを伸張させ、切れこみより注射針を出し入れする態様のもの

3. 補正をする者

事件との関係 実用新案登録出願人

住所 福岡市南区中尾1丁目20番6号（〒815）

コウノリョウスケ

氏名 向野良介（ほか1名）

4. 補正命令の日付（発送日）昭和62年10月20日

5. 補正の対象 願書の考案の名称の欄および
明細書の考案の名称の欄

6. 補正の内容 願書については、別紙のとおり。

明細書については、第1頁3行目から9行目までを全て削除し、新たに、考案の名称として「針の出し入れが安全に行なえる注射針のキャップ」

という字句を挿入する。

599
600



**This Page is Inserted by IFW Indexing and Scanning
Operations and is not part of the Official Record**

BEST AVAILABLE IMAGES

Defective images within this document are accurate representations of the original documents submitted by the applicant.

Defects in the images include but are not limited to the items checked:

- ☒ **BLACK BORDERS**
- ☐ **IMAGE CUT OFF AT TOP, BOTTOM OR SIDES**
- ☐ **FADED TEXT OR DRAWING**
- ☐ **BLURRED OR ILLEGIBLE TEXT OR DRAWING**
- ☐ **SKEWED/SLANTED IMAGES**
- ☐ **COLOR OR BLACK AND WHITE PHOTOGRAPHS**
- ☒ **GRAY SCALE DOCUMENTS**
- ☒ **LINES OR MARKS ON ORIGINAL DOCUMENT**
- ☐ **REFERENCE(S) OR EXHIBIT(S) SUBMITTED ARE POOR QUALITY**
- ☐ **OTHER:** _____

IMAGES ARE BEST AVAILABLE COPY.

As rescanning these documents will not correct the image problems checked, please do not report these problems to the IFW Image Problem Mailbox.